

室戸台風の痕跡水位プレートを設置した 「就実高校放送文化部」の 河川功労者表彰伝達式が行われました。

日時 平成17年6月13日 (月) 13:10 ~ 13:40

場所 岡山市弓之町14-23 就実高校 校長室

概要

今から約70年前の昭和9年(1934年)9月21日、室戸台風により、旭川、百間川が氾濫し、岡山市内では、過去に例を見ない大洪水が発生しました。この氾濫の記録を後生に残すため、旧内務省により、洪水の浸水位を記録した「痕跡プレート」が、岡山市内の各所に設置されました。就実高校放送文化部では、学校に設置されていた「痕跡プレート」に興味を持ち、室戸台風についての取材活動を行い、その成果をもとに、放送番組の制作や新たな「痕跡プレート」の設置等を行い、多くの市民へ、災害体験や災害に関する情報の普及、啓発に多大な貢献を行いました。

このたび、(社)日本河川協会からこの功績が評価され、「河川功労者」として表彰されることになり、岡山河川事務所により表彰伝達式を行いました。当日は部員8名が出席し、報道各社からのインタビューにも活動の苦労や感想について堂々と答えていました。

活動写真



【表彰状授与】



【放送文化部記念撮影】



【TV局による取材】



【痕跡水位プレート】
(就実高校横)



【就実高校放送文化部作成】